

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ダイニチ 品目：愛媛県産水産物

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向

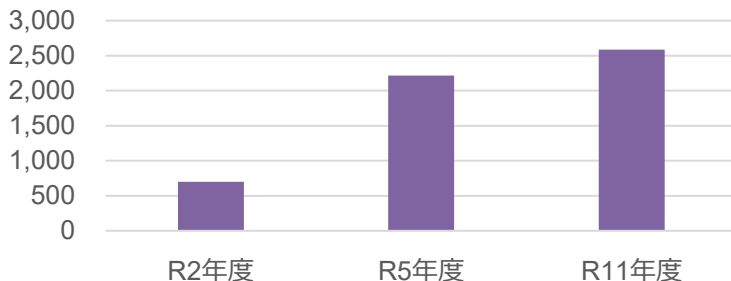
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等

（実態）北米・香港向けブリ伸長

ダイニチ海外輸出（百万円）

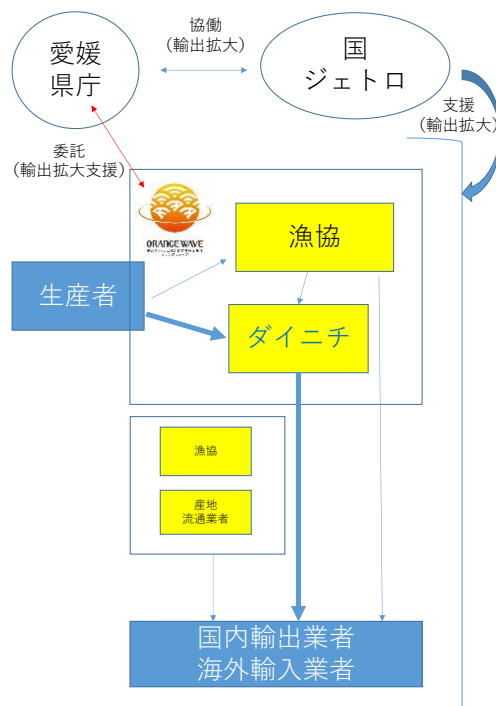


【課題】

- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握

2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	<ul style="list-style-type: none"> ・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育フィッシュ
認知度	<ul style="list-style-type: none"> ・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	<ul style="list-style-type: none"> ・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ダイニチ 品目：愛媛県産水産物

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

- ①ニーズに応じた商品展開
- ②プロモーションの選択、実行
- ③問題点のブラッシュアップ

4. 改善

- ①マーケットニーズの整理
- ②需要量の把握
- ③アイテム（認証・魚種）の反響把握
- ④新ジャンルの反響把握
- ⑤輸出実績の把握

3. 評価



- ①マーケットニーズ
- ②環境整備（ソフト・ハード）
- ③アイテム（認証、魚種）
- ④エンドユーザー拡大

1. 計画

- ①プロモーション・リサーチ
- ②環境整備支援（ソフト・ハード）
- ③認証取得支援・開発研究
- ④現地系高級レストラン等開拓
- ⑤輸出実行

2. 実行

4. 輸出目標額

愛媛県産ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	507,710千円	2,044,056千円	+1,536,346千円
輸出货量	314,000kg	909,943kg	+595,943kg
輸出先国	米国・香港・EU	米国・香港・EU	

愛媛県産まだい	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	68,788千円	227,767千円	+158,979千円
輸出货量	39,000kg	139,274kg	+100,274kg
輸出先国	米国・タイ・EU	米国・タイ・EU	

愛媛県産その他	現状（令和2年度）	目標（令和11年度）	増減
輸出額	124,320千円	314,582千円	+190,262千円
輸出货量	59,000kg	98,971kg	+39,971kg
輸出先国	米国・香港・EU	米国・香港・EU	